

取材対応者



総合文化研究科 教授
機構長
河合 祥一郎



総合文化研究科 准教授
副機構長
加治屋 健司

特色ある取組

本年5月に発足した東京大学芸術創造連携研究機構は、**アーティストとの連携による分野融合型の研究**を推進すると同時に、**教養教育としてのアートの実技教育**を行っています。本機構は、医学系研究科、教育学研究科、工学系研究科、情報学環、人文社会系研究科、数理科学研究

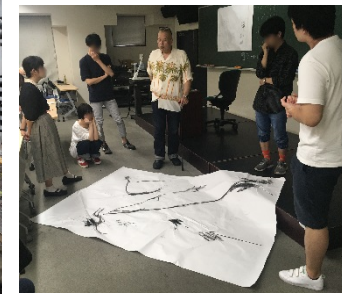
科、総合文化研究科の7部局が連携する機構で、**文理を超えて様々な分野から32名の教員が参加**しています。芸術創造のプロセスの解明に分野横断的に取り組むと同時に、第一線で活躍するアーティストによる授業を通して、多様な価値観を尊重しつつ、これからの社会に創造的に対応できる学生を育てています。**アーティストと共同研究を行う教員や、実技教育の受講学生もご紹介しますので、取材できます。**

上記取組による成果・評価 など

本機構は発足したばかりですが、さっそく毎日新聞、日本経済新聞等で報道されて**社会的に高い関心が集まっています**。総合大学における教養教育としてのアート実技は、世界の大学では一般的ですが、**日本は大きく立ち後れており、この分野を開拓していければと考えています。**



「Sound-Art Creation」
教養学部前期課程学術フロンティア講義(2018年度、担当教員:カール・ストーン)



教育学部総合教育学科特設科目
「超ドローイング演習」(2019年度、担当教員:O JUN)



毎日新聞2019年6月27日夕刊

参考URL

・芸術創造連携研究機構HP

<https://www.art.c.u-tokyo.ac.jp/>